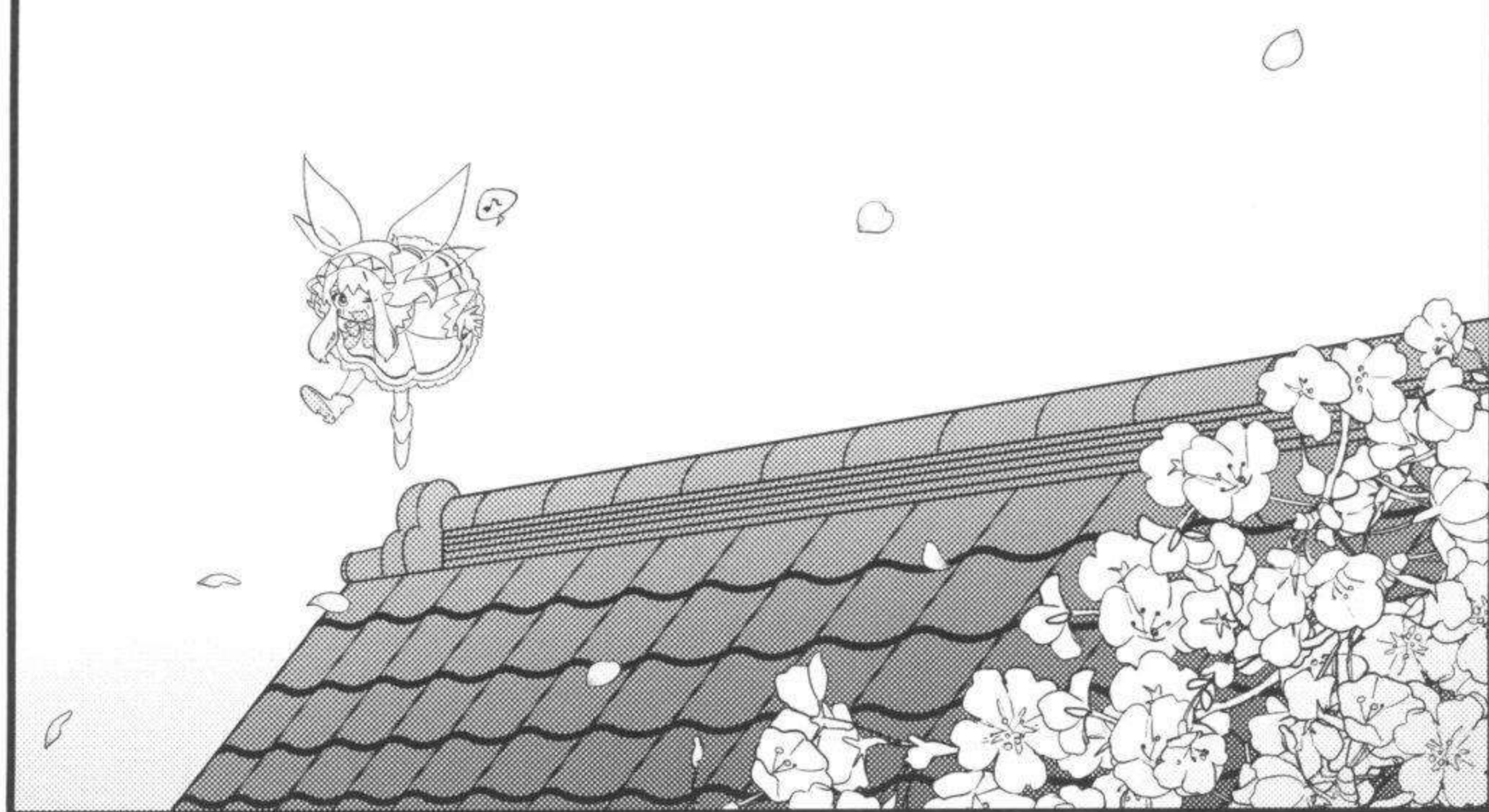




細石の
エルヴァー

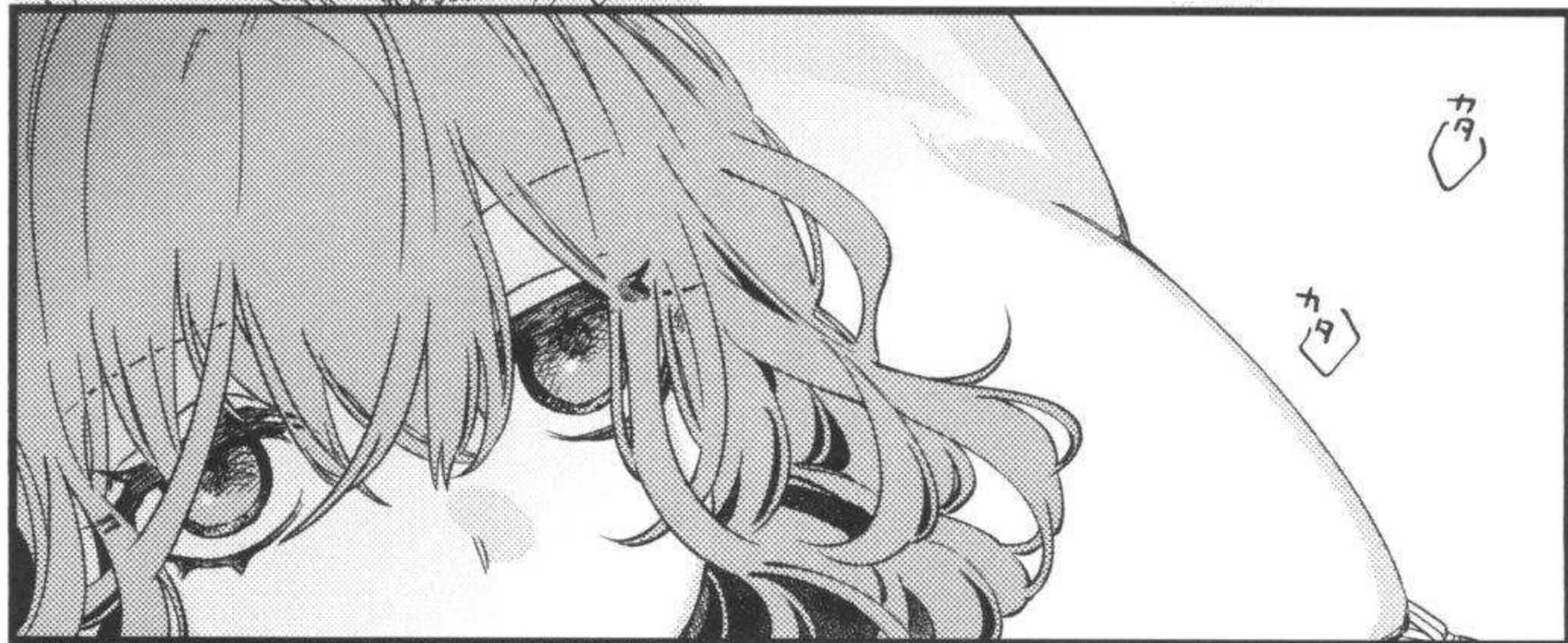
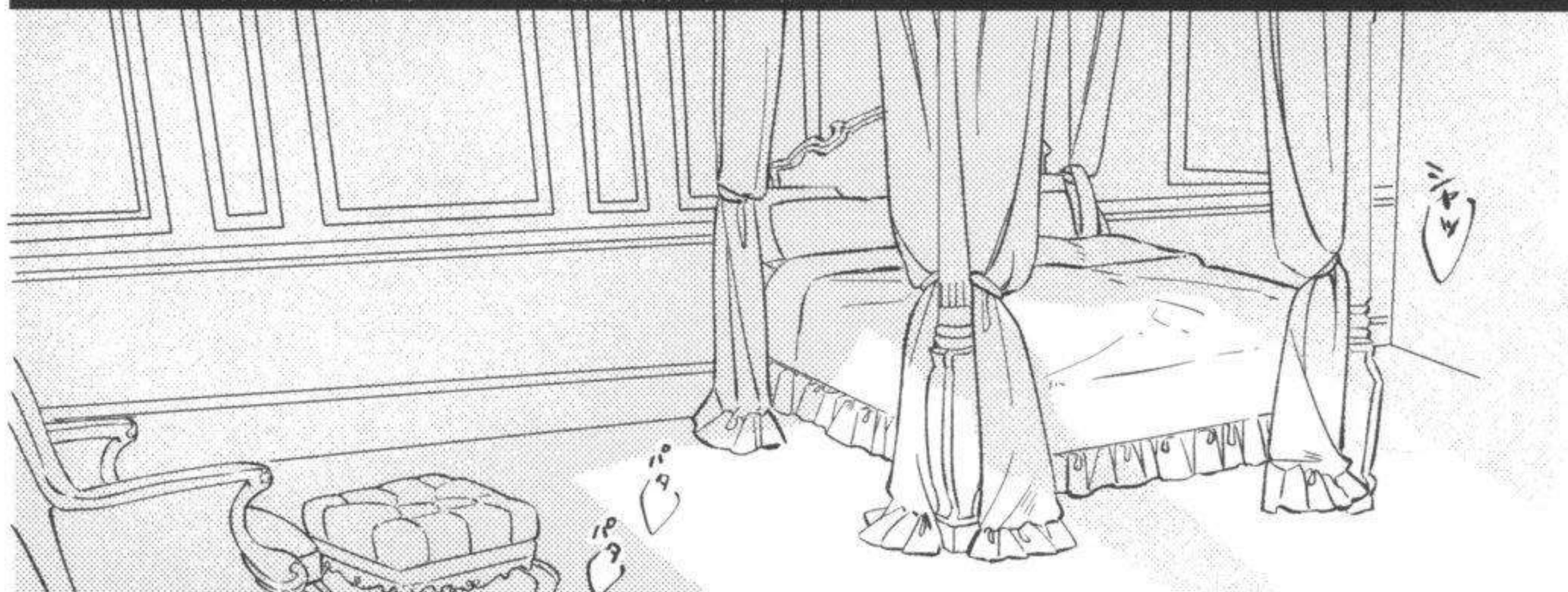






一ヶ月くらい前かな

きっかけは――



今日は一段と
静かなのね





お隣

あっ

おはよう
ございます
さとり様！

おはよう
ございます
さとり様！



ええ…

む



今日はぐっすり
でしたねえ
いつもは私の声で
先に起きてるのに

お疲れ
なのかなあ

今
お茶入れますわ



地上はとて面白い
天気らしいですよ！
さっき魔理沙が
遊びに来て花見が
どうのって
誘いに来て！

サザン
の化えた
なあ



……



また鬼の連中が
途中から乱闘とか
しなきゃいいんですけどね…

サザン
これでも
楽しかった
なあ



お隣
なにかあった？

えっ？

えっ？

心の声が
聞こえにくくて…

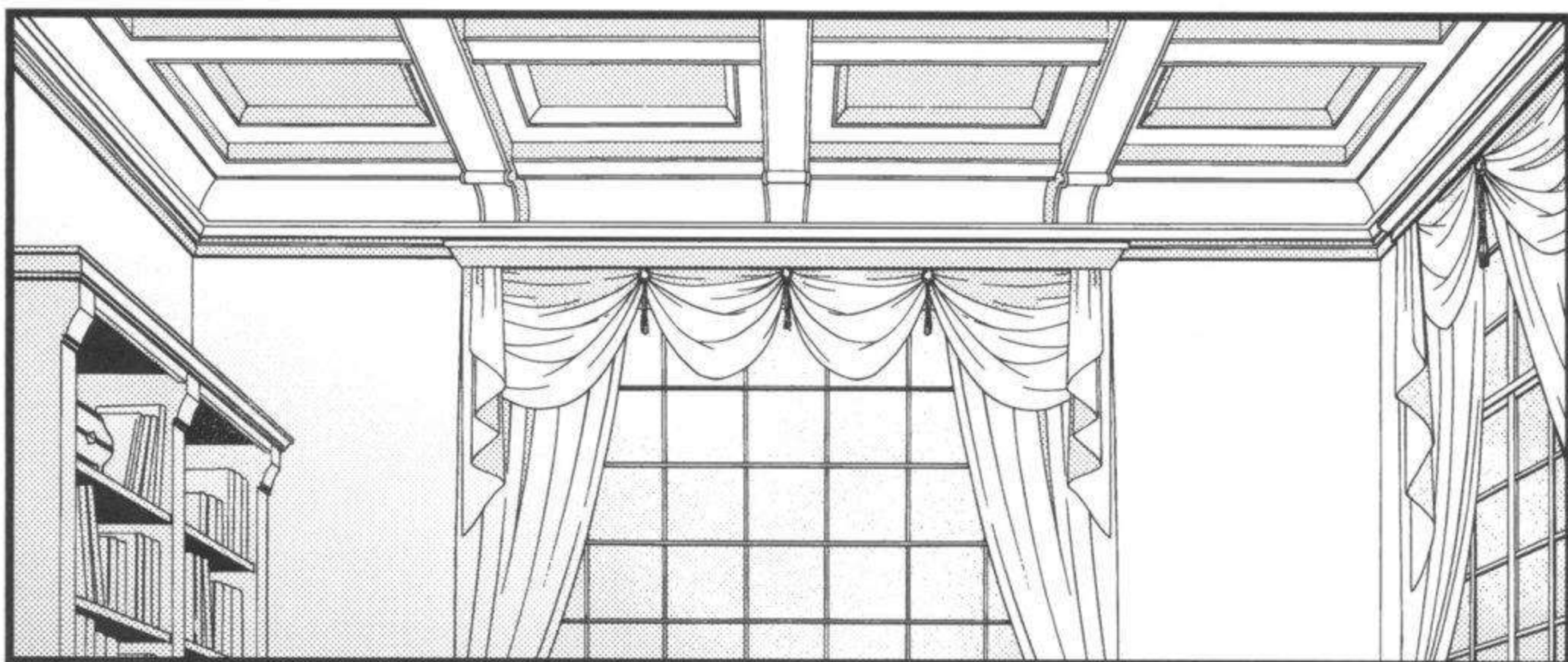
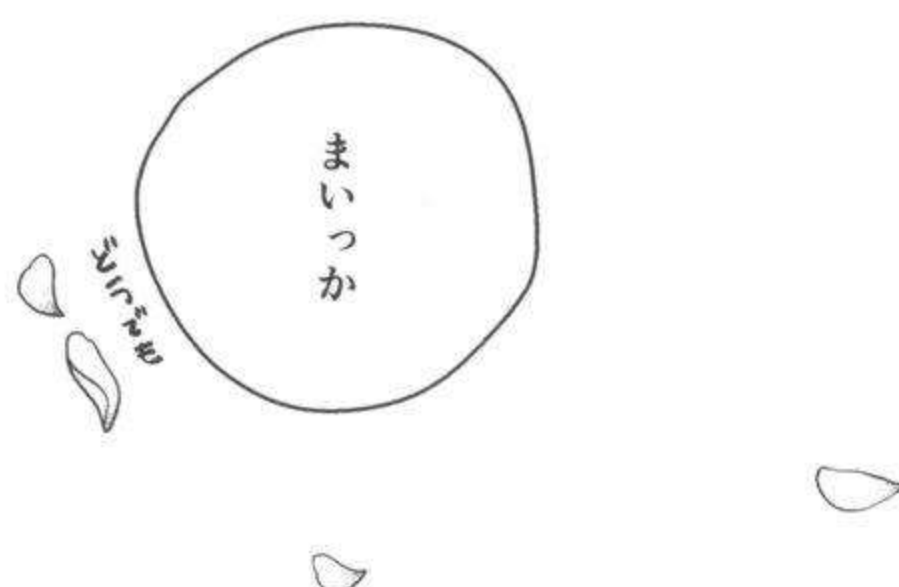
まるでノイズが
入ったみたいよ



しん……

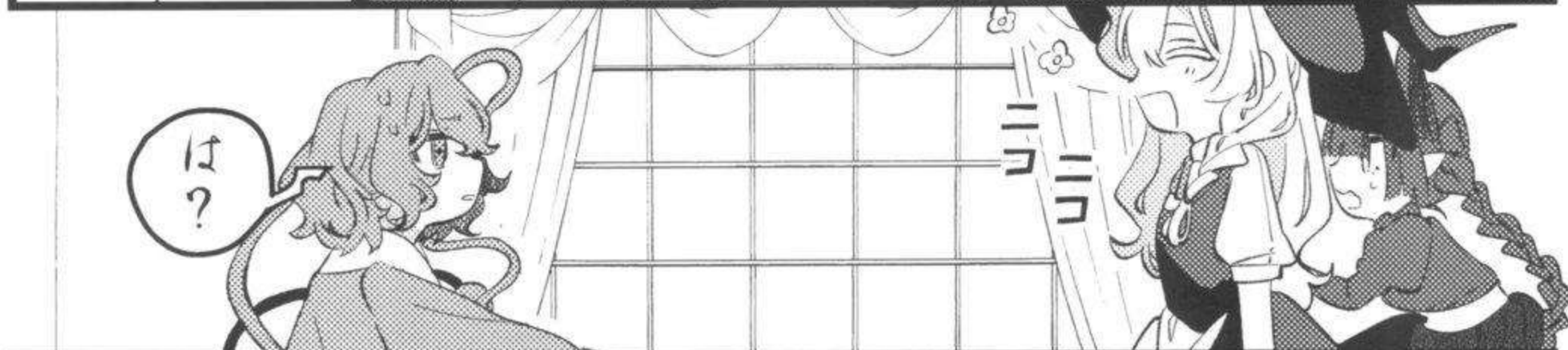








花見
しようぜ!



は？

ニコニコ



いやあ

お前が最近
顔を出さないから
心配してたんだよ

久しぶりに
のみたいなあゝと
思ってたな

それにもう
4月じゃん？
花見の時期には
もってこいなワケよ

ちようどいい
気晴らしにと思って
優しい魔理沙さんの
心配りだぜ

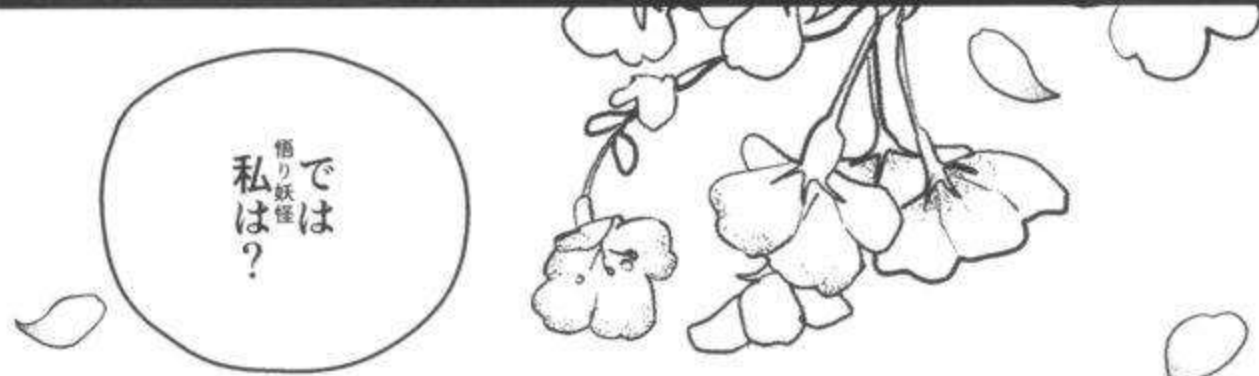














…いや

ここでこんな考え
いくら巡らしても
原因なんて
浮かばなかったのだし

本当に
花見にでも行つたほうが
いいかもしれないわね

それに
さっきの
言葉…



これはまるで—

…もう少しで
何かが掴めそうなのに

助け合いはしないが
馴れ合いはする…

つまり…



つまり
何だろ？

心が読めないんだから
わかるわけない…



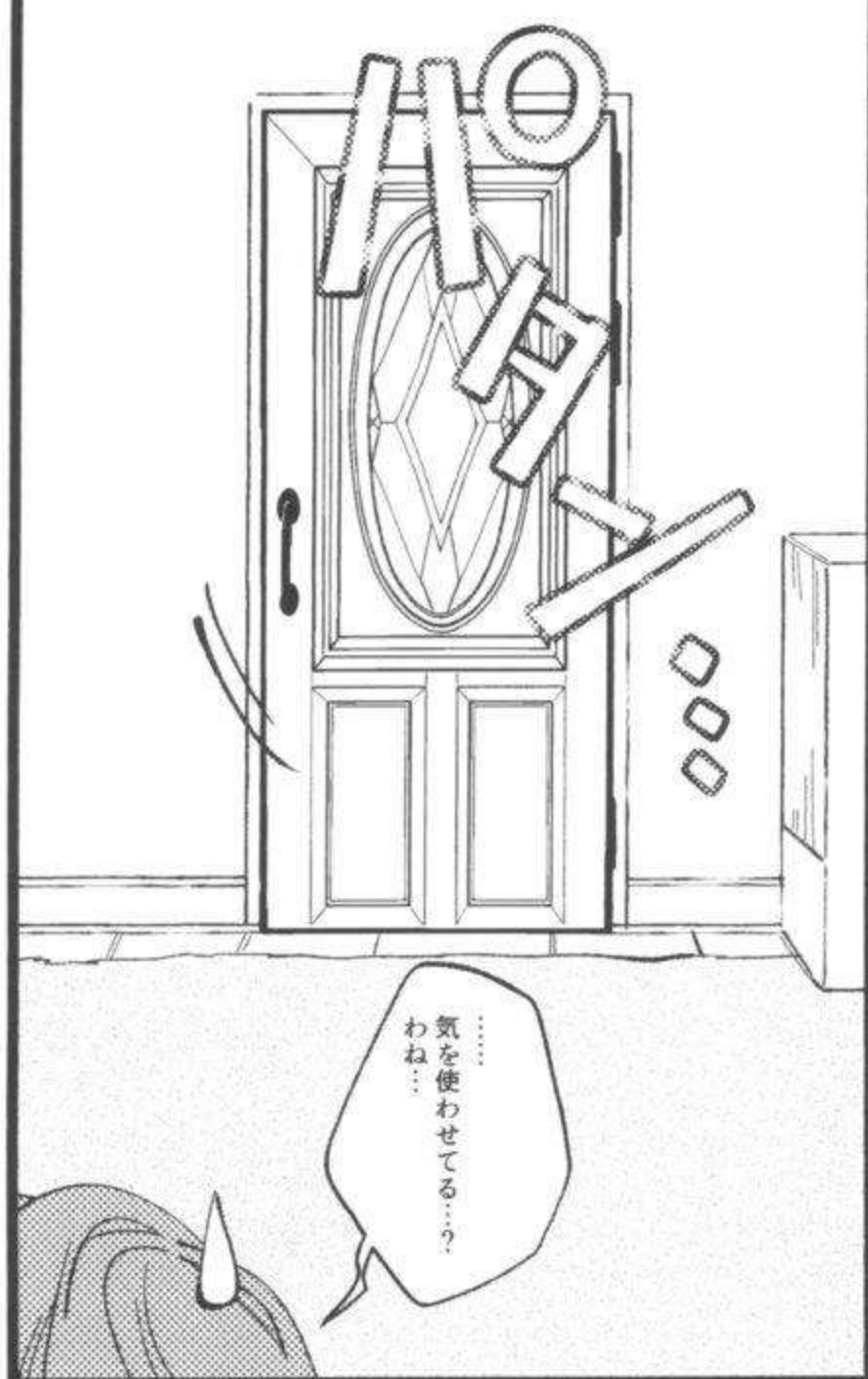
元気でたみたいだね！

そうかにやあ…



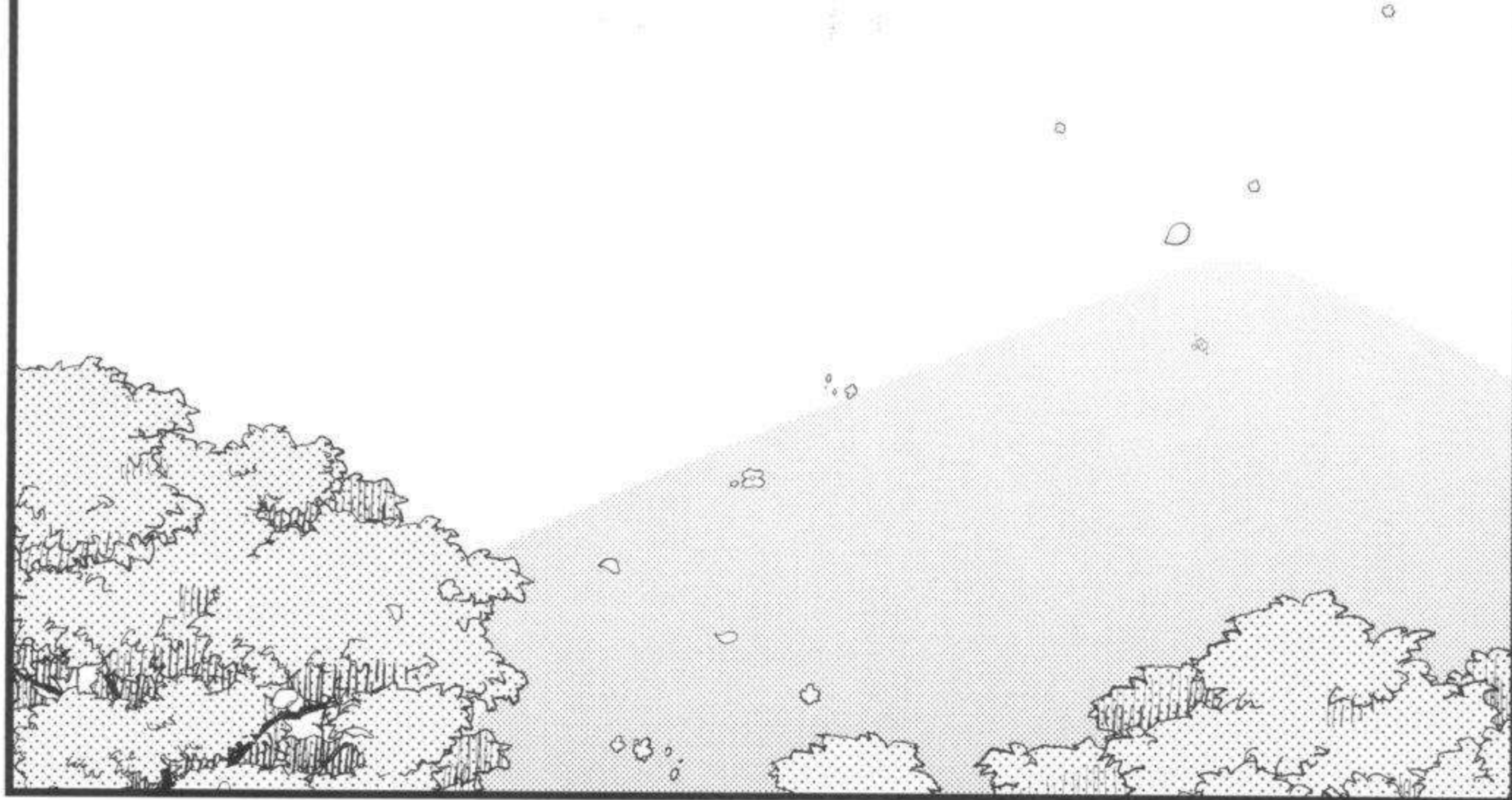
いやでも
あの言い方
意味は
あるはず…
意味の無い事を
言うような
人間…だったかしら
うう全然話してすら
いないのだから
わかるわけない…

……



ス
タ
ス
タ
ス
タ













さう

助け合いは
しない主義じゃ
なかったの



ねえ

ワイ

ワイ



姉に妹の場所を
教えるのは
馴れ合いだろ

へりくつ

ねえ
魔理沙

さっきの
なんだったの？

ああ

フラン
わかんない
さーんどうきょくを



ふーん…



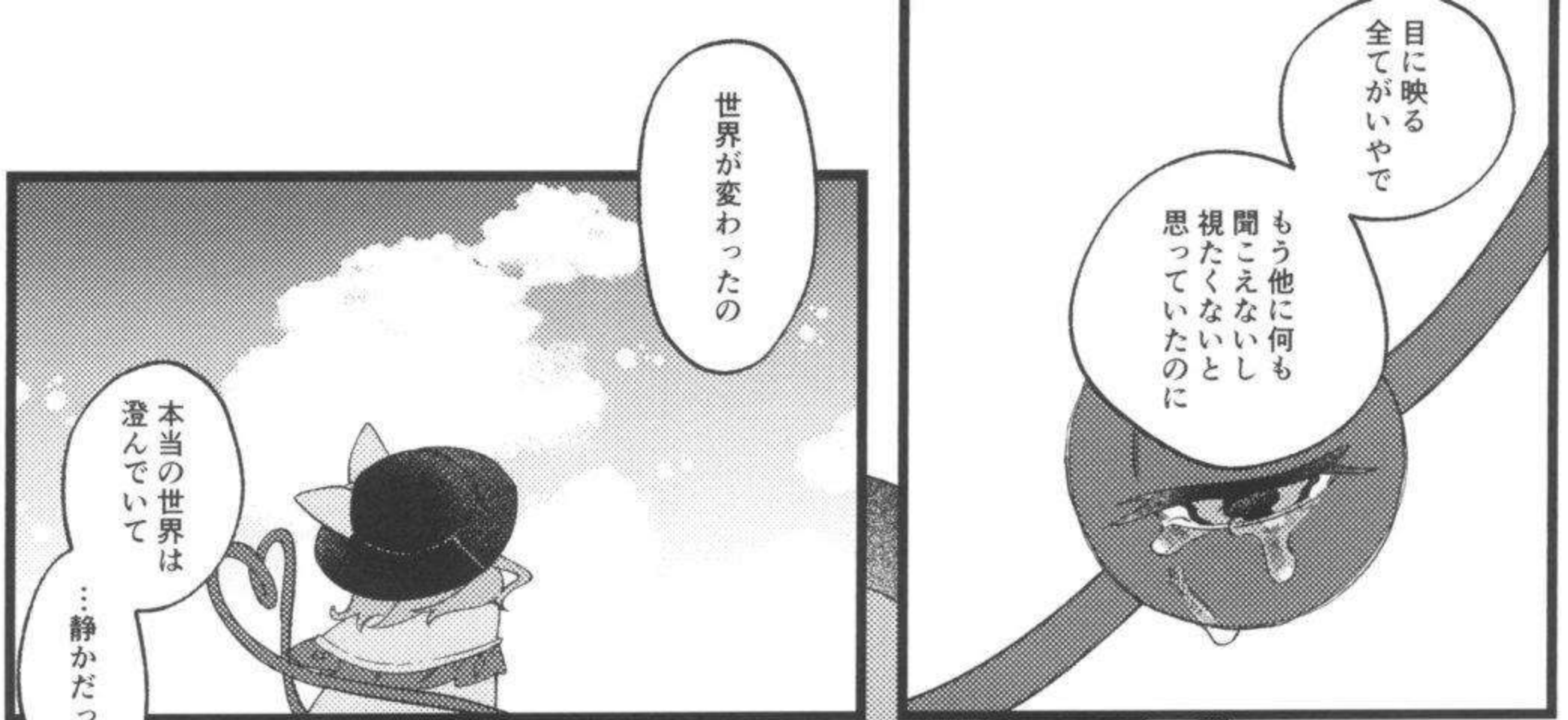
フランと同じように
あいつらも姉妹だからな

色々あるんだろ
家族だし

アイツと
一緒かあ…







目に映る
全てがいやで

もう他に何も
聞こえないし
視たくないし
思っていたのに

世界が変わったの

本当の世界は
澄んでいて

…静かだった



—
すごくきれいだった

それで
悟ったの



悟り妖怪
としてじゃなく

こう生きるほうが
ずっとずっと
しあわせだって

…
おねえちゃんも
そう思ったでしょ？



でも
こいし

でもね

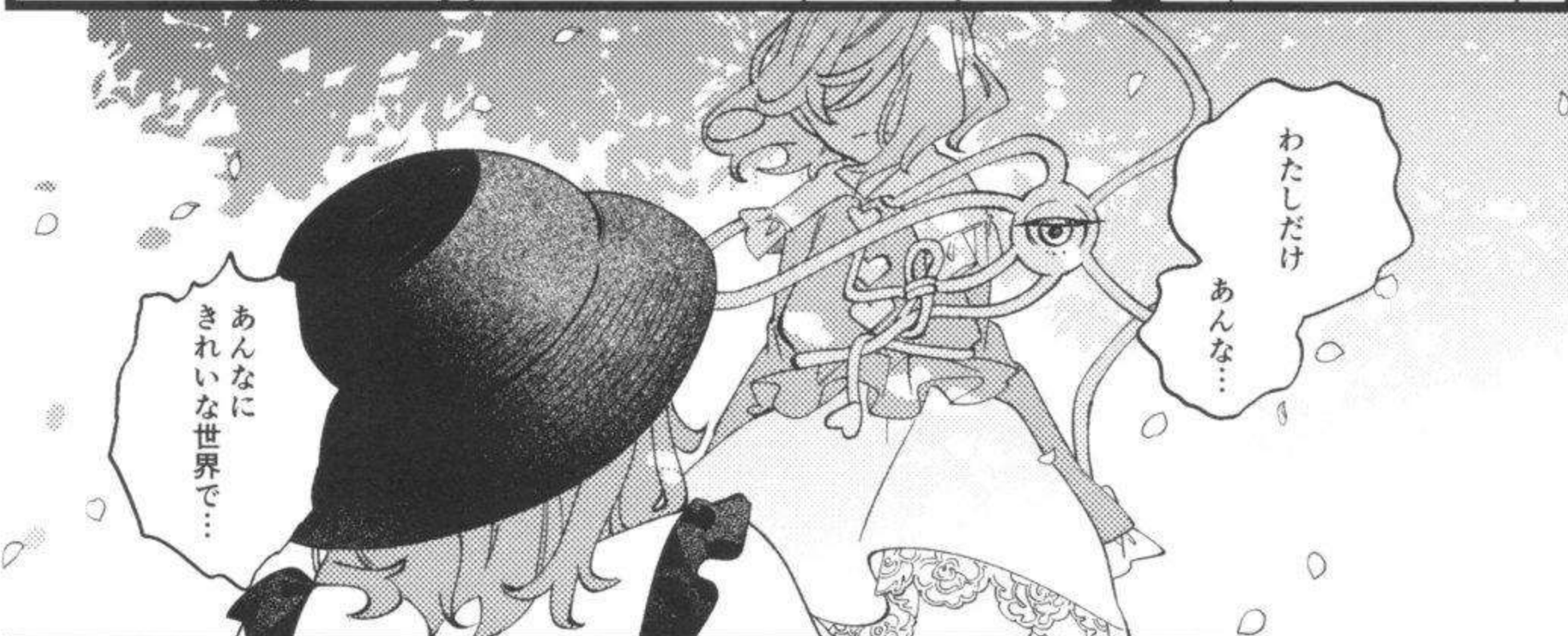








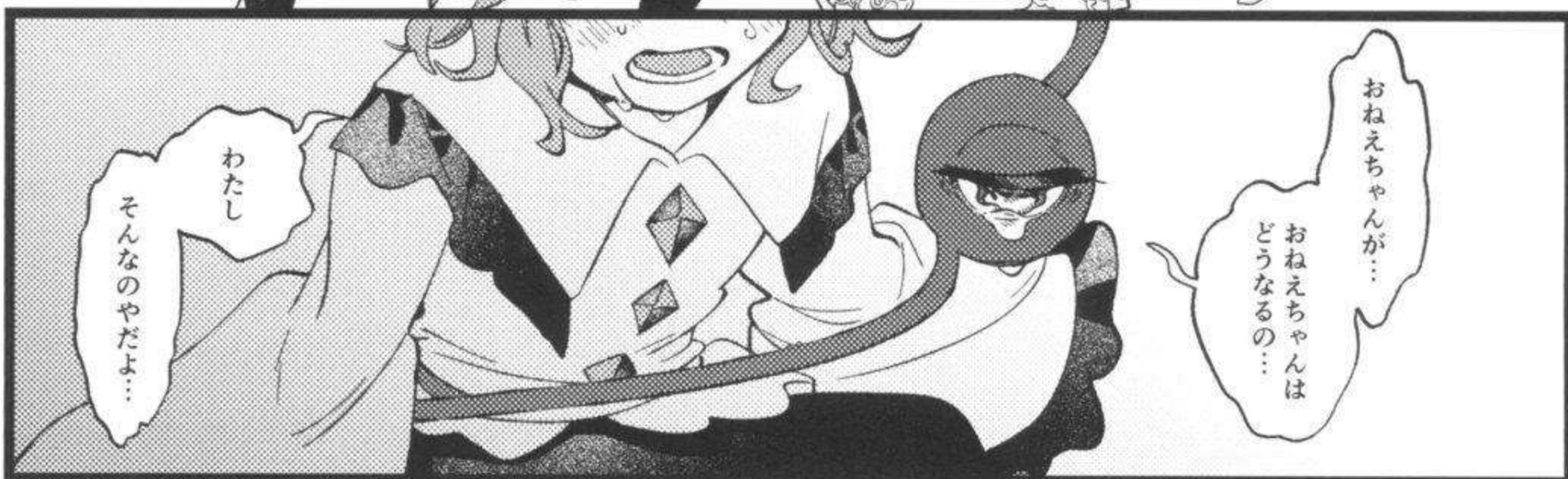
だって



わたしだけ

あんな...

あんなに
きれいな世界で...



おねえちゃんが...

おねえちゃんはどうなるの...

わたし

そんなのやだよ...



フイ

フイ



私は貴女が幸せなら
それが一番幸せなのよ



まったく手のかかる
かわいい妹ね



だっはっは!!

そんで妹に
殺されそうに
なっただってか!

あははは
悟れない
悟り妖怪なあ!

あのねえ
笑ってくださいけど

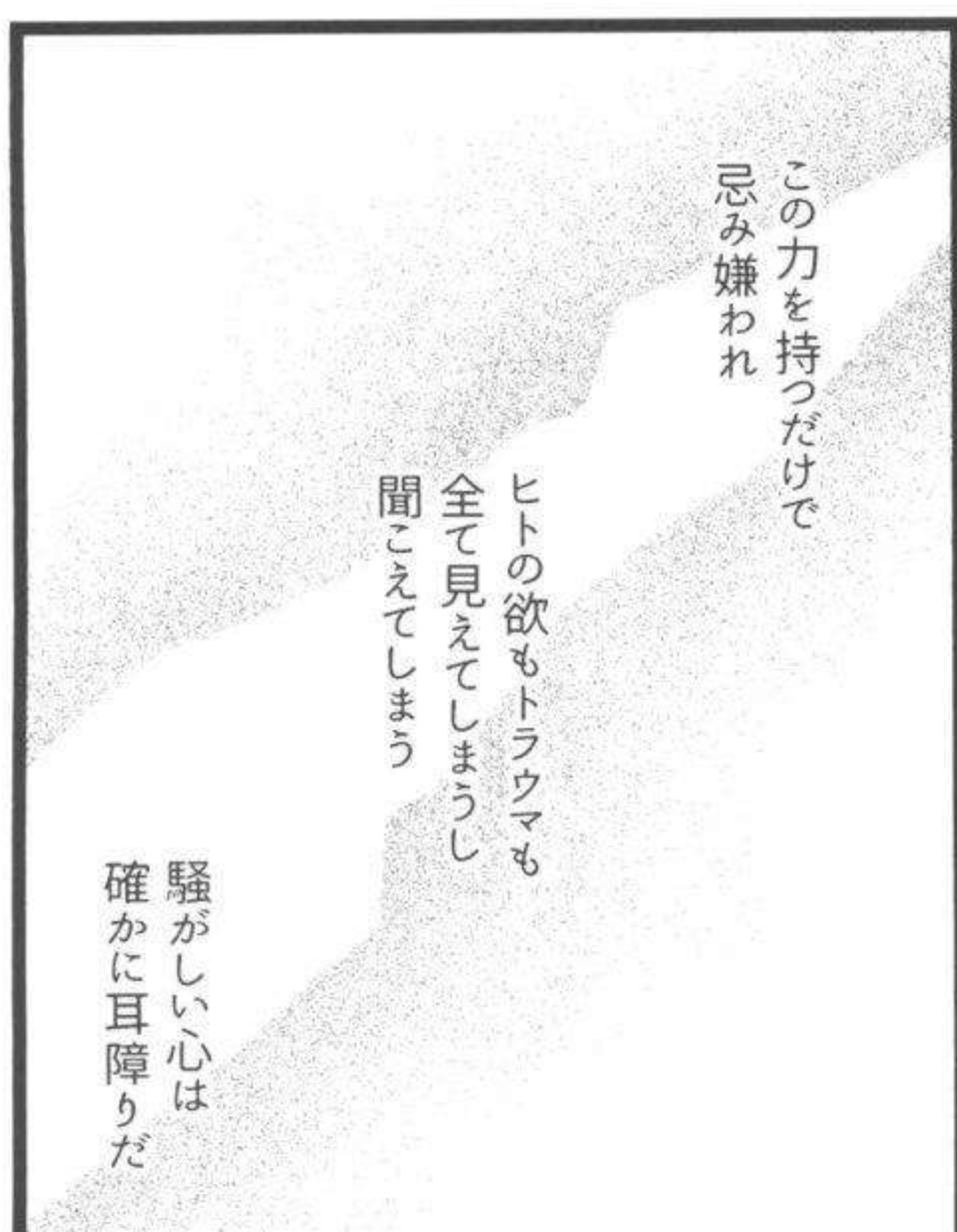
割と本当に
危ない状態
でしたからね

いや

そんなモン
些事さ









でも

でもね私は

この騒がしさも悪くないと
思えるようになったのよ



あとがき

おつかれさまです！わ～！！

この度は本をお手に取っていただきありがとうございます。

今回は前々回くらいからずっと出したかったさとの本を出せました…！

ひとえに友人のにぐちゃんにトーン貼り手伝ってもらったおかげです

ほんとにありがとうございました！

今回一番題名に悩みました…細石のニルヴァーナなんて

めちゃくちゃカッコいい題名にしましたが

実際は細石→こいしちゃん ニルヴァーナ→悟り

という超簡単に変化しただけでした おほほ

ではまた次のイベントなどでお会いできれば嬉しいです！

しちみでした～





ちもち
たまろーる。